

子どもたちを産み・育て・共に暮らせるまちづくり

未来へつなぐ 南相馬の再生

南相馬復興シンポジウム

参加費
無料

2014. **3/2** (日) 13:00 開場 13:30-16:00 (終了予定) サンライフ南相馬

2011年3月11日の東日本大震災発生からもうすぐ3年になります。

南相馬市では、一日も早く一人でも多くの市民のみなさまが安心して暮らしていただけるよう復興・復興に向けて全力で取り組んで参りましたが、未だに多くの市民が自宅を離れ空区に避難を余儀なくされている状況です。

特に子育て世代の中には、放射能汚染の不安等により、帰郷を躊躇している様子が明らかとなってきています。次世代を担う子どもたちが戻り、高齢者や家族が安心して暮らせるまちづくりを進めることが重要となっていることから、子どもたちへ希望あふれる未来を提供していくため、「南相馬市の目指すべき姿」を語るシンポジウムを開催します。

基調講演 東洋大学社会学部教授 森田明美氏
「震災復興と子どもにやさしいまちづくり」

■パネルディスカッション パネリスト■

東洋大学社会学部教授 森田明美氏

復興庁参事官 佐藤紀明氏

南相馬市民代表

南相馬市長 桜井勝延

■パネルディスカッション コーディネーター■

南相馬市 復興アドバイザー 関幸子

主催：南相馬市 事務局：一般社団法人 震災復興ワークス

問合せ先：南相馬市復興企画部企画課

TEL：0244-24-5358 E-mail：kikaku@city.minamisoma.lg.jp

子どもたちを産み・育て・共に暮らせるまちづくり

未来へつなぐ 南相馬の再生

南相馬復興シンポジウム



2014. **3/2** (日) 13:00 開場 13:30-16:00 (終了予定) **サンライフ南相馬**

【基調講演】50分 質疑10分 東洋大学社会学部教授 森田明美氏
「震災復興と子どもにやさしいまちづくり」

【パネルディスカッション】80分

パネリスト



東洋大学社会学部教授 森田明美氏

子育て支援の実態と福祉支援に関する実証的研究を行ってきた。保育所や児童発達施設の標準・評価、生活支援活動や、13自治体の子ども計画や子育て支援計画策定と実施、評価、子ども・子育て計画、子どもの権利条約に関する国連 NGO・NPO 活動には参加。東日本大震災子ども支援ネットワーク事務局長として、子どもの復興支援に関する NGO・NPO 活動の連携を図り、若手奨励財団で理事長を務める NPO が中学生以上の子どもたちを対象としたおやつ作り体験教室を開催して運営している。

東洋大学社会学部長 (教授) 専門は児童福祉。

共編著「子どもにやさしいまちづくり第2巻」日本評論社 2013.12 後多数



復興庁参事官 佐藤紀明 氏

旧職は、総務省大臣官房参事官。平成25年6月から現職。

これまで、国民生活白書の執筆、総合創成改革事務局の立ち上げ、情報公開制度の普及や推進、中心市街地の活性化、地域再生マネージャーを活用した地域再生、漁業、観光、山村など各地域の振興、地方の国際化対応、社会記録確認第三者委員会の体制の整備、防災計画の情報システムの見直し強化、平和祈念堂が資料館の運営などに携わり、



南相馬市長 榎井謙延

生年月日：昭和31年1月4日 出身：福島県南相馬市昭和区江井

最終学歴：昭和53年3月 岩手大学農学部卒業

主な職歴：農家

主な役職等：新城市議会議員 (1期) (平成15年3月4日から平成17年12月31日)

南相馬市議会議員 (2期) (平成18年1月1日から平成22年1月10日)

南相馬市長 (1期) (平成22年1月29日から平成26年1月28日まで)

南相馬市長 (1期) (平成26年1月29日から)

パネルディスカッション コーディネーター



南相馬市 復興アドバイザー 関幸子

東日本大震災後の8月に復興を支援する「震災復興フーズ」を立ち上げ、被災地の応援を促した。

三浦市、千代田区での約30年間に及ぶ地方公務員として、主に基本構想、中心市街地活性化基本計画、まちづくり株式会社設立に関わる。